

新

商品開発 奨勵記 大阪の「ご当地ポン酢」 あえて真逆を行く発想で開発した

「谷町ほんず」を「〇〇八年に商品化した中村商店。同社従来の「業務用・夏向け・甘い」商品の真逆を行く「家庭用・冬向け・甘くない」商品の開発に取り組んだのはなぜでしょう？」

B to BからB to Cへ

「夏に需要が集中する商品ばかりなので冬場は製造量が落ちます。それにアイスコーヒーにシロップを入れない、チューハイより水割りやハイボールを好むなど甘いもの離れが進んでいる昨今、当社のシロップ類の販売も横ばいで、状況を開拓したいと考えていました」と語る中村さん。また業務用はブランドが工場ユーザーの目に入らないため、価格競争に巻き込まれやすい構造化をするために、家庭用に参入しました。

愛される商品づくり

足かけ2年の開発期間中には、他社製品を徹底的に研究。その結果、他社はしょゆや果汁に特色を出しているが、ダシにはこだわっていないことが分かりました。

「同友会で社会貢献や地域貢献について学んで、おいしくて地元に愛されるものを作りたいと思つていました。大阪はダシの文化なので、ダシにこだわったポン酢を

作ろうと、また当社にはコーヒー抽出機と抽出技術があります。それをダシの抽出に転用できる強みもありました」。

商品名は、本社が谷町九丁目駅近くにあるのとお祖父さんが相撲の「タニマチ」だったことに由来しています。大阪のご当地ポン酢として徐々に市場に浸透している「谷町ほんず」。300本からはオリジナルのラベルが貼れます。会社の記念品などにも使えそうです。

株式会社中村商店 専務取締役・営業部 部長 中村 直史 Nakamura Naofumi 昭和10年創業の同社で創業者孫世代にあたる。ガムシロップ、チューハイおよびカクテル用シロップ、リキッドコーヒーなどを製造。<http://www.captain-drink.co.jp/> <http://www.tanimachi-ponzu.jp/>

雑誌にも掲載されました。

（文・上船 美和）

おお、太っ腹！

● プレスリリースのススメ

御社の商品、サービス、企業の取り組みなどを北ブロック広報委員会に紹介ください。

記事として取り上げられれば、大阪府同友会約2800社の優良企業に対して無料で御社のPRができます。

賢明な経営者のみなさま、この機会をお見逃しなく！

● プレスリリースはA4サイズ1枚にまとめて同友会事務局までFAXでお送りください。
FAX06-6941-8352 同友会事務局の小原まで

作文講座のご案内

今、日本人は、過去に類を見ないほど文章を書いているそうです。公式な文章もさることながら、メールやブログ、ツイッターにFacebookなど、文章を書く機会が増えてきました。しかし、自分の思いを正確に伝えられなければ、効果がうすくなってしまいます。月に一度開催される北ブロック作文講座は、的確な表現で伝わる文章を書く能力を身につける講座です。伝えてつながる文章づくりと一緒に学びませんか？

開催日時：9/13(火)・10/6(木)・11/10(木) 18:30開始
参加費：1,500円

詳しくはe-doyuをご覧ください。

「編集長はじめましてとやつてみた」同友会は経営者として学ぶことがとても多く良い環境が揃っていますが、まだその良さが伝わっていないようになります。そんな課題を、読んでもらえる広報誌を通じて内外を問わず発信し、一人でも多くの方に「北极星いいね」って声を掛けてもらえるように頑張りたいと思います。

（編集長竹中 清晃）

【発行元】大阪府中小企業家同友会
【発行責任者】吉田 俊夫
【連絡先】大阪府中小企業家同友会事務局
TEL 06-6944-1251
FAX 06-6944-1835
251

編集後記

Nakamura Kazuhide 別注家具製造の木工所。建築屋に頼らず、直接お客様との仕事を増やすべく奮闘中。デジタル化に伴い、ぴったりサイズの薄型テレビボードが好評。

<http://www.nakamura-woodworks.jp>

会社に入って約30年、最初は経営者の身内として、5年ほど現場を経験しました。立場的に微妙で、とにかくがむしゃらに働きました。製造業として、「いいモノを作りたい」の当たり前のことが出来ない状況が悔しく、従業員とぶつかることもありました。

7年前に同友会に入会し増強研修を受けました。同友会で色々学び話を聞くことで、「いいモノを作りたい」と言う気持ちが間違つてなったことに、気づくことが出来ました。

私自身、三代目として会社を引き継ぎ、仕事をこなしながら常に、社員との関係を考えました。その中で大事なのは、言葉の重要性です。ちゃんと話を聞き答えを考える。すると、是正しないようなことでは、その人に重大なことであり、真剣な話です。時には重々しく、まじめに楽しく経営者と話

かたつたことを、気づくことが出来ました。

同友会で大事なのは、言葉の重

要性です。ちゃんと話を聞き答えを考える。すると、是正しないようなことでは、その人に

重々しく、まじめに楽しく経営者と話

かたつたことを、気づくことが出来ました。

同友会で大事なのは、言葉の重

要性です。ちゃんと話を聞き答えを考える。すると、是正しないようなことでは、その人に

重々しく、まじめに楽しく絏営者と話

かたつたことを、気づくことが出来ました。

同友会で大事なのは、言葉の重

